

バイオマス燃料の事業化に向けた 国際戦略シンポジウム

SATREPS

平成24年9月3日(月)~4日(火)

於:大手町サンケイプラザ 4階ホール 東京都千代田区大手町1-7-2

プログラム

1日目(9月3日)

開会挨拶: 文部科学大臣 政務官 神本 美惠子

主催者挨拶:

科学技術振興機構 理事長 中村 道治 国際協力機構 副理事長 堂道 秀明 産業技術総合研究所 理事長 野間口 有 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長

古川一夫

基調講演等:

総合科学技術会議議員 相澤 益男 薬師寺 泰蔵 科学技術振興機構 運営統括 「バイオマス事業化戦略検討チームからの報告」

「日本経済団体連合会」「国際農林水産業研究センター」

「新エネルギー・産業技術総合開発機構」他

招待講演:

タイ科学技術院院長 / インドネシア評価技術応用庁 長官・副長官

2日目(9月4日)

取組等の紹介:

SATREPSプロジェクト、産業界、米国による取組等の発表 パネルディスカッション:

「バイオマス燃料の事業化に向けた国際戦略」について モデレータ:山地憲治 科学技術振興機構 研究主幹、(公財)地球 環境産業技術研究機構 理事・研究所長、東京大学 名誉教授

共催:

(独)科学技術振興機構(JST)

(独)国際協力機構 (JICA)

(独)産業技術総合研究所(AIST)

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

(独)国際農林水産業研究センター(JIRCAS)

(一社) 日本経済団体連合会

後援: 内閣府、文部科学省、外務省、 経済産業省、 農林水産省、(一財)新エネル ギー財団、(一財)省エネルギーゼンター、 (一社)日本有機資源協会

登録者数:874名(2日間) (企業640名、大学51名、官公庁・団体 153名、その他30名)

実際に、693名(2日間)が参加。



メディアにも本シンポジウムの内容が掲載。 http://www.shimbun.denki.or.jp/news/energ v/20120904 01.html











SATREPSの成果



平成24年3月の<u>日チリ首脳会談では、野田総理から本プロジェクトについて言及があり、これに対して、ピニュラ大統領は、同プロジェクトを通じての日本からの協力及び技術支援に謝意を表明。</u>

(平成23年度採択チリ課題

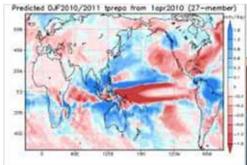
「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究プロジェクト」)

熱帯地域において年間5千万人が感染し、25万人の重症患者が発生しているデングウィルス感染症の治療薬に関するタイとの研究では、同感染症に対して有効な抗体を見いだし、特許を米国に仮出願しPCT国際特許とする準備を進めており、我が国の製薬企業の高い関心を集めている。

(平成20年度採択タイ課題

「デング出血熱等に対するヒト型抗体による治療法の開発と新規薬剤候補物質の探索」)









高解像度大気海洋結合モデル(SINTEX-F1) により、高精度の季節予報が可能となった。

(平成21年度採択南アフリカ課題

「気候変動予測とアフリカ南部における応用」)



登録制SNS Friends of SATREPS

<平成23年6月1日より運用中>

地球規模課題に関心のある人であれば、 SATREPS関係者だけでなく

研究者・学生、企業、NGO、個人、団体等、 誰でも参加できる

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

- ·登録会員数:3,700名超!
- ·会員所在国:<u>約90カ国</u>
- ・コミュニティ数:約250

コミュニティの種類

SATREPSプロジェクトとフレンスを繋ぐため

プロジェクトをつくるため

SATREPSプロジェクト間の情報交換のため

会員間の情報・意見交換

平成24年度SATREPS応募

その他趣味など

URL https://fos.jst.go.jp/

Friends of SATREPS







会員数上位15力国

1.インドネシア

2.91

3.マレーシア

4ペトナム

5.ガーナ

6.フィリピン

7.アルジェリア

8.アフガニスタン

9.スリランカ

10.トルコ

11.アメリカ

12.南アフリカ

13.プラジル

14.パングラデシュ

15メキシコ



Friends of SATREPSのサービス

Friends of SATREPSが提供するサービス



ニュースやイベント 情報の受け取り

SATREPSの事業や 既存プロジェクトに 関するニュースや イベント情報の 受け取りができます。



既存のプロジェクト との連携

環境問題等に関心の ある学生や、類似の 取り組みをしている 企業・NGOが既存 プロジェクトとの連携 を探る事ができます。



新規応募に 向けた準備

新たなSATREPSの プロジェクトチームを 形成するための チームメイト探しや、 提案内容についての 意見交換ができます。



情報共有と

環境エネルギー、 生物資源、感染症、 防災などについて、 広く情報共有・ 意見交換が行えます。

研究の様子だけでなく、現地の生活や文化を紹介する情報も満載! 会員間の新たな出会いと交流の場に。

見逃されていた途上国のニーズを拾い、研究期間終了後に研 究者と企業や団体が連携して活動できるよう道筋をつけるのに役 立ちます。



Friends of SATREPS Community Sample (1)

~ [FS] Disaster Risk Information for Local Community in Thailand ~

How an local community obtain disaster info? コミュニティ概要 : アジア(タイ)の山間・農村地域のニーズに基づい た災害情報伝達システムの設計を行う

アジア山間・農料地域 KAWASAKI 川崎 昭加

で住民がどのように劣tow do local community and citizens obtain disaster information? Do they use TV, radio, online phone, 害情報を得ているの mobile phone, or SMS? Are there any difference by the region (northern part, northeastern pat, central,

southern part)?

か?

という質問に対して...

20:35

1: Sittichai Choosumrong

Dear all, My name is Sittichai Choosumrong. I was invited to join this community from Dr. Sarawut Ninsawat, As I used to work for National Disaster Warning Center, Thailand (NDWC). The processes to give the information the local community and citizens are;

First, They receive the data from Thai Meteorological Department, Department of Mineral Resources, Department of Water Resources and Royal Irrigation Department. Then, summarize the data and anounce via TV, radio, Fax, SMS, Internet, Open Care and Warning Tower.

same precess of all the region.

ワークショップ写直なども投稿

1: Tetsuya Ishikawa 石川 監修







the Life Safety Learning Center of Tokyo Fire Department

KODAKA 小高 晓

we is Akira KODAKA. I'm working at Thai local NPO in Loei province (Northeastern Thailand).

2: Tetsuya Ishikawa 石川 哲世







Sumida River boat Cruice

point of view of my experiences here, weather forecast is available via radio and daily TV program but do not use that (or it would be said they do not believe and/or rely on the information). However, they tend to use empirical way to predict magnitude and time of rain; e.g., cloud movement, wind's containment, behavior of insects like ants.

risk information is rarely utilised here but villagers can avoid damage from muddy stream of river and n surface when a heavy rain attacks. They stop farm works when they expect such rain.

Villagers spend their time almost outside especially day time. So, community radio and mobile with SMS would be useful tools to inform them weather forecast and disaster risk information. BUT, most important thing is whether they will use such information or not. I will ask them about their conscious against disaster.

Hope this comments could be of some help to all.

タイ現地 のNGOな どから詳 細な情報 を入手!



Friends of SATREPS 他コミュニティ例



毎面上昇に対するツバル国の生態工学的維持 (10)



海大陸気候研究会(Maritime Conitinent



Indian's DHS (14)



非食糧系バイオマスの輸送用燃料化基盤 技術プロジェクト (1)



アフリカサヘルの水・衛生システム Water and Sanitation System for Sahel, Africa (27)



Reducing Geo-Hazard Damage in Malaysia/マレーシアにおける災害による被災低減 (16)



気候変動予測とアフリカ南部における応用 (Climate Variations in South Africa) (38)



Earthquake/Volcano Monitoring in the Philippines フィリピン地震火山監視 (13)



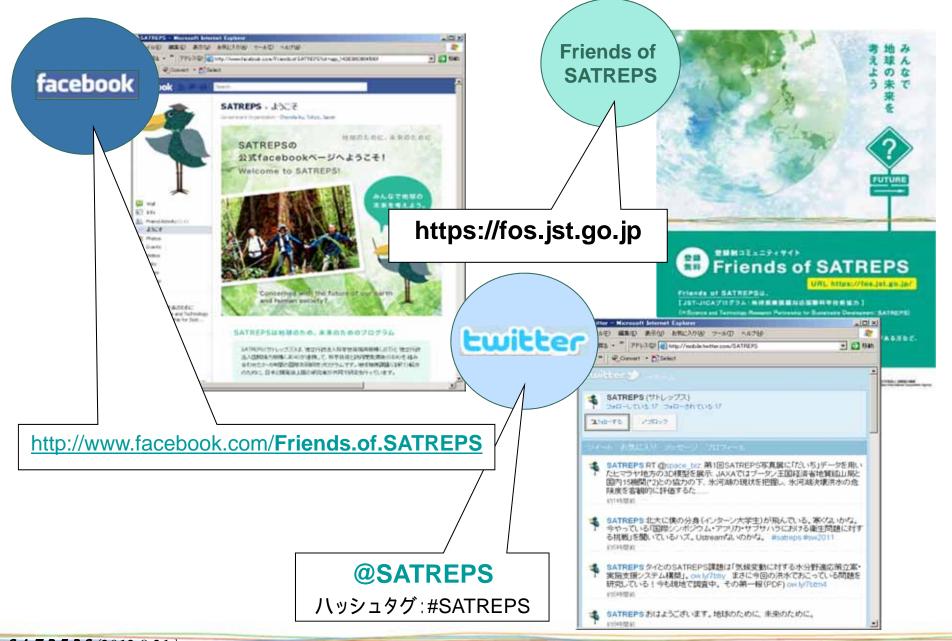
ベルーにおける地震・津波減災技 術/Earthquake and Tsunami Mitigation in Peru (16)



天然ゴムを用いる炭素循環システムの構築 プロジェクト/ESCANBER (10)



SATREPSOSNS



SATREPS (2012.8.21)



ご静聴ありがとうございました



SATREPS (2012.8.21)